

豊富バイパスの開通から冬期2シーズン経過後の整備効果について

国道40号豊富バイパスは、地吹雪による視程障害や通行止めの解消や通年の安定した人流・物流の確保を目的とし、宗谷地域初の自動車専用道路として平成16年11月6日に開通しました。

今回、開通から冬期2シーズン経過後の豊富バイパスの整備効果をまとめました。

豊富バイパス開通によって、主に以下の4つの効果が認められました。

1. 交通事故が減少しました。
2. 地吹雪時の安全・安心な交通を確保しました。
3. 生活面で地域に密着した道路となっています。
4. 地域医療に貢献しています。

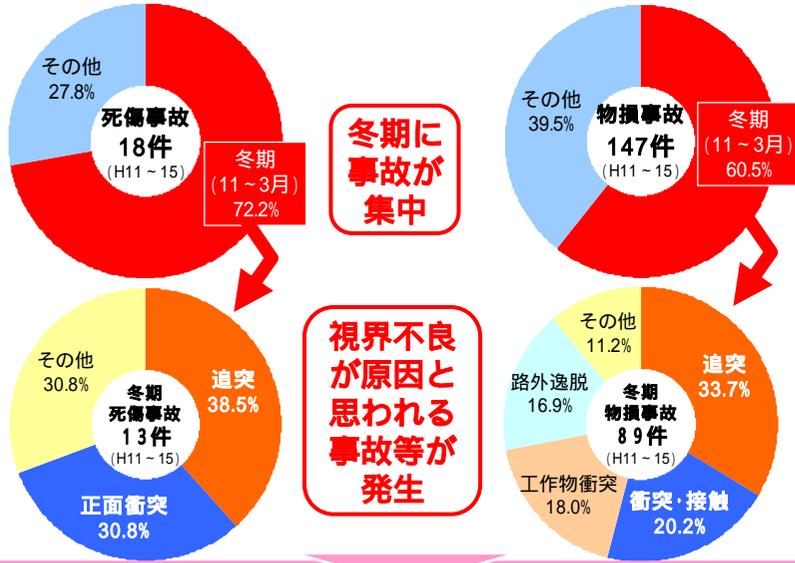


豊富バイパスの開通から冬期2シーズン経過後の整備効果について

1. 交通事故が減少しました。

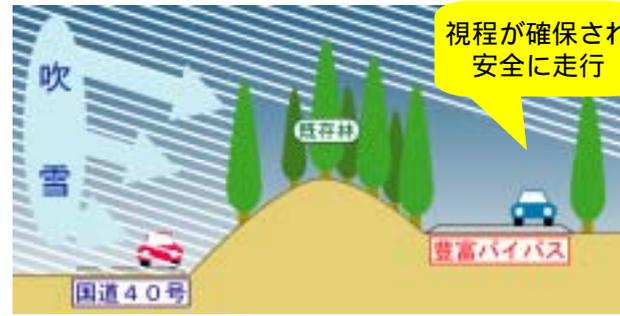
開通前は視界不良が原因と思われる事故が多く発生。豊富バイパス開通後、事故が減少。

豊富バイパス開通前の国道40号の事故の状況

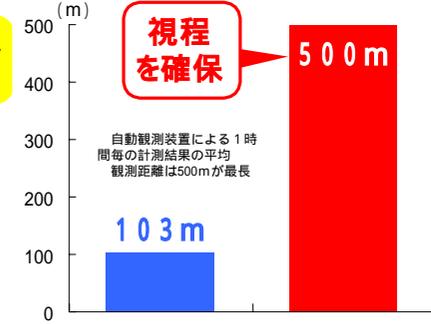


2. 地吹雪時にも安全・安心な交通を確保しました。

国道40号が地吹雪による視界不良時にも、豊富バイパスでは視界を確保。



豊富バイパスの防雪対策



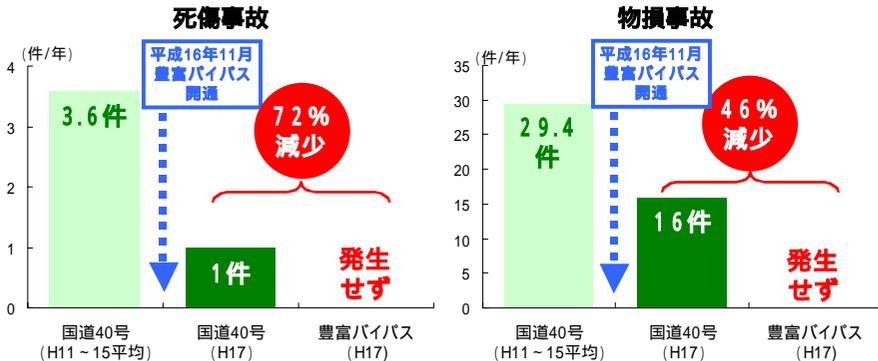
国道40号 開源
豊富バイパス 芦川橋
平成17年12月26日・27日における平均視程距離

《平成17年12月26日の交通機関の状況》
都市間バス：稚内～札幌間、稚内～旭川間 共に5分程度の遅れのみ
J R：札幌駅発の特急1本が約2時間遅れで稚内駅に到着
航空機：稚内空港発着の全便が運休
宗谷バス線、JR稚内駅、全日空稚内空港へのヒアリングによる

都市間バス・稚内～札幌間は豊富バイパスを利用

道路交通での影響が軽微

豊富バイパス開通による事故発生の変化



豊富バイパスでは発生せず、国道40号でも減少

注) 国道40号は、豊富バイパス並行区間(14.5km)を対象
 資料：死傷事故：交通事故マッチングデータ(各年)
 物損事故：天塩警察署物損事故処理件数(各年)



同日同時刻の視程状況比較

資料：道路パトロールカー記録

豊富バイパスの開通から冬期2シーズン経過後の整備効果について

豊富バイパスが交通の遮断を回避～平成17年2月の事例

平成16年2月には、稚内市～豊富町間の交通が遮断され、物資輸送等で多くの影響が発生しました。
 平成17年2月にも国道40号をはじめ一般道が通行止めとなる地吹雪が発生しましたが、豊富バイパスにより通行が確保され、物資の安定供給等に寄与しました。

平成16年2月と平成17年2月の通行止め状況

《平成16年2月23～24日》



《平成17年2月20～23日》



稚内市の事業所における通行止め時の状況

事業所	平成16年2月23日の状況	平成17年2月22日の状況
宗谷トラック(株)	稚内～旭川間及び稚内～札幌間のトラック便が全便運休。	稚内～札幌間のトラック便は旭川を経由したため約2時間の遅れが発生したが、全便運行した。
西條百貨店 稚内店	到着予定だったトラック2便のうち、1便が到着せず。	商品入荷で若干の遅れがあったのみで、影響はほとんどなし。
稚内地方卸売市場	トラック便運休のため、旭川からの畜果の入荷がストップ。	通常通りの入荷となった。
太平洋石油輸送(株)	稚内市街地を除く管内各地のガソリンスタンドへの配送車が運休。	豊富バイパスを利用したため、配送車の運行に影響はなかった。
伊戸川商会 (道新販売店)	旭川工場から留萌市経由で輸送したため朝刊到着に約1時間の遅れ。	朝刊の到着は通常通りであった。

2月22日午前(0:00～12:00)の通行止め状況と当日の農産物の輸送状況



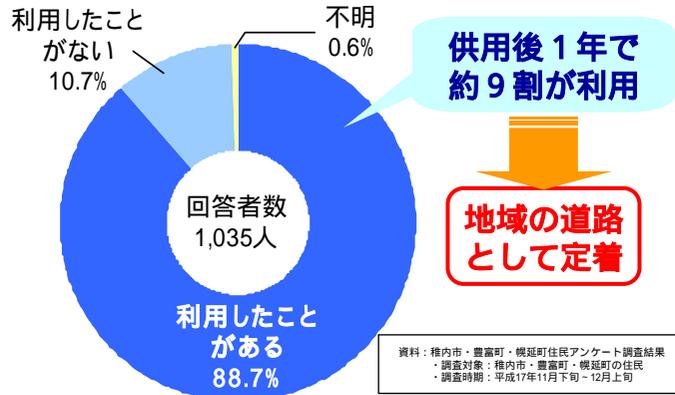
《稚内市からの生体牛出荷状況》



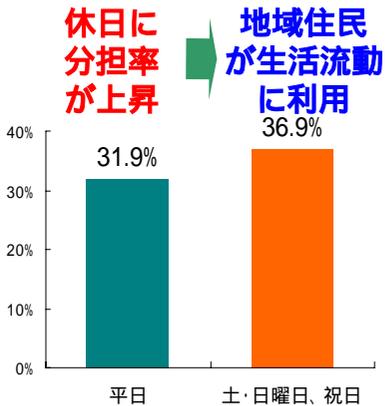
豊富バイパスの開通から冬期2シーズン経過後の整備効果について

3. 地域に密着した道路となっています

地域住民の約9割が豊富バイパスを利用。
休日にレジャー・買い物等の利用が増加。
地域生活における安心感向上に貢献。
運輸面でも重要路線として活用。

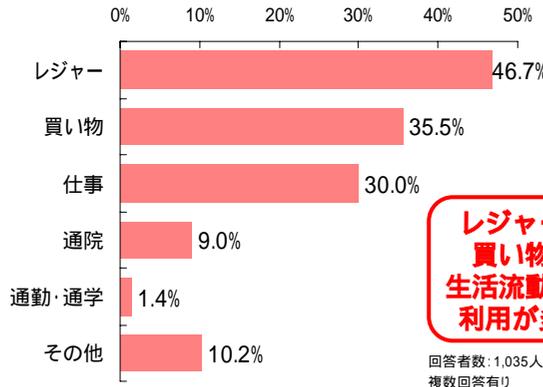


豊富バイパスの利用の有無
(住民アンケートより)

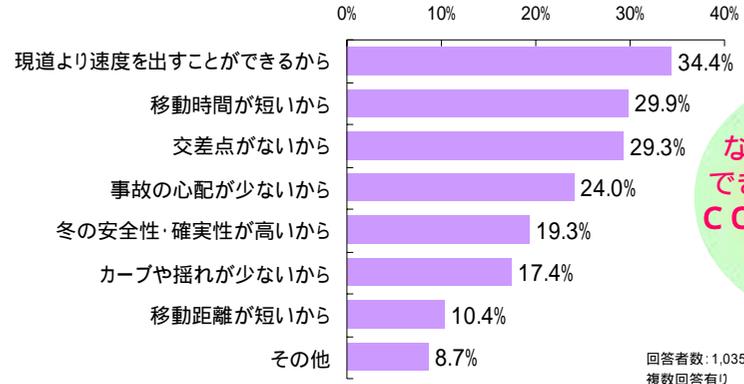


資料：平成16年12月～平成18年2月の豊富バイパス・豊富と国道40号・徳満の交通量より算出

豊富バイパスの分担率



豊富バイパス利用時の移動目的
(住民アンケートより)



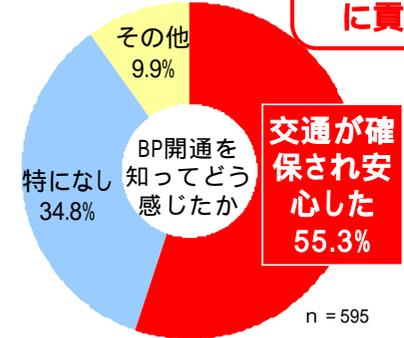
豊富バイパス利用の理由(住民アンケートより)

信号や交差点がなく一定速度で走行できる豊富バイパスはCO₂削減にも貢献する環境にやさしい道路です。

地域生活の安心感向上に貢献

豊富バイパス開通後の住民の声
(住民アンケートより)

冬の移動の不安がなくなった。
温泉、スキー場、ゴルフ場へ行く回数が増えた。
休日のドライブルートの選択肢が増えた。
国道40号が通行止めでも荷物が届いて助かった。
雑誌の発売日が遅れることがなくなった。



「国道40号が通行止めの時、豊富バイパスが開通していたことを知ってどう感じましたか」の回答
(住民アンケートより)

地域生活や運輸面で様々な効果

稚内市内バス事業所の声
「シーズン中には、早朝に豊富温泉からフェリー港まで観光客を運ぶことが多く、バイパス開通により貸切バスの走行時間が短縮され助かっています。」

稚内市内運送業者の声
「豊富バイパス開通により、時間短縮の他、悪天候時の安定性や、ルートの選択性向上等の効果が発揮され、物流ルートとしても確立しつつあります。」

豊富バイパスの開通から冬期2シーズン経過後の整備効果について

4. 地域医療に貢献しています。

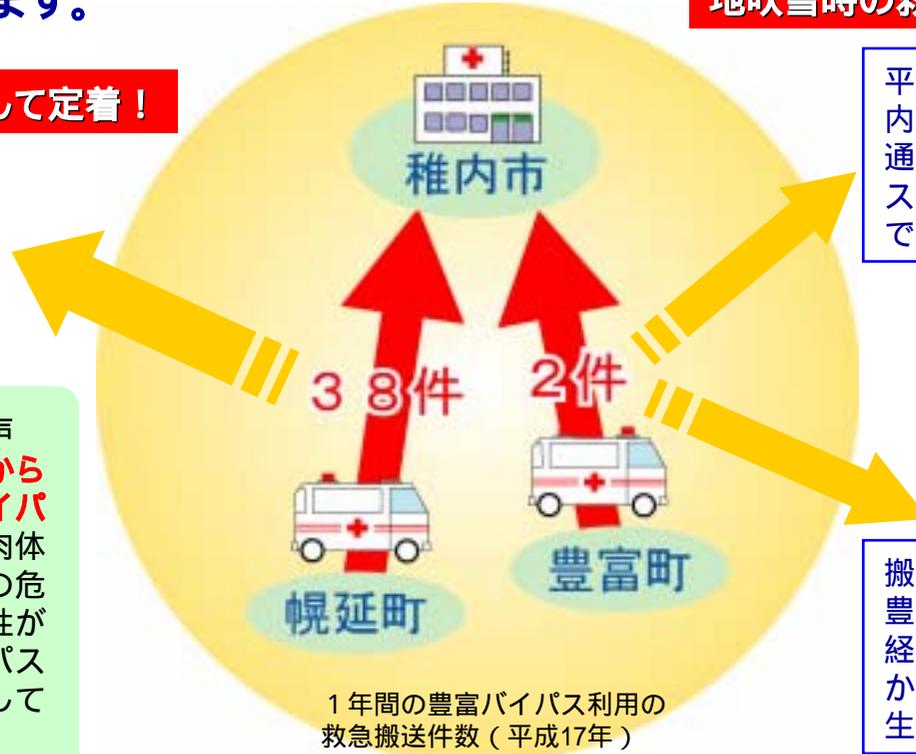
地吹雪時の救急搬送路を豊富バイパスが確保！

豊富バイパスが救急搬送ルートとして定着！

平成17年2月21日夜間に、豊富町から稚内市への救急搬送が発生、国道40号等が通行不能となる中、救急車は豊富バイパスを走行することで無事搬送することができました。

幌延町から稚内市へのすべての救急搬送で豊富バイパスが利用されています。

北留萌消防組合消防署幌延支署の声
「豊富バイパスの開通後は、**幌延町から稚内市への救急搬送の全件で豊富バイパスを利用しています。**搬送患者への肉体的負担が少ないこと、走行中の事故の危険性が低いこと、吹雪時の走行安定性が高いことなどの理由から、豊富バイパスは救急搬送ルートとしてすでに定着しています。」



搬送患者への負担軽減から必要とされた豊富バイパス！

搬送中の患者への負担が少ないことから豊富バイパスを走行するようにとの脳神経外科の医師からの指示により、豊富町から稚内市へ救急搬送を行った事例も発生しました。

地域の医療面での安心感が向上！

豊富バイパス開通後の住民の声
(住民アンケートより)

冬期も救急車が確実に走行できるようになって良かった。
冬期にも通院できるようになった。
猛吹雪の日にも出産のため病院に行くことができた。
子供が通院しているが、国道通行止め時にもバイパスが通行止めとならないと聞いて助かった。